

集会案内

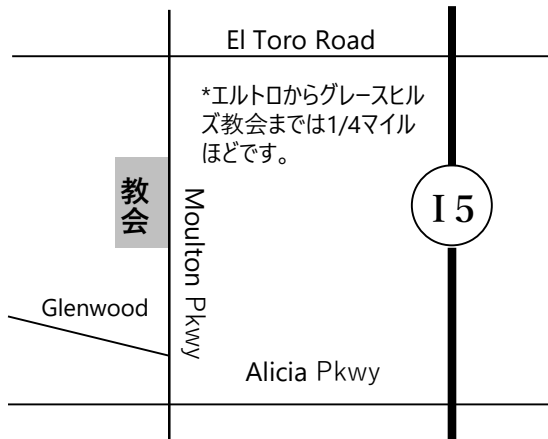
毎週日： 祈 禱 会 1 : 1 5 p m - 1 : 4 5 p m
礼 拝 2 : 0 0 p m - 3 : 2 0 p m
茶 菓 3 : 3 0 p m - 3 : 5 0 p m
聖書研究 4 : 0 0 p m - 4 : 5 0 p m

毎月1回：家庭集会 ラグナ・ウッズ、又はアーバイン
10 : 30 a m ~ 昼食

教会住所： c/o Grace Hills Church
24521 Moulton Pkwy
Aliso Viejo, CA 92637

- ◎ 私達の礼拝は第1バプテスト教会グレース・ヒルズ教会堂内のチャペルで行なっています。
- ◎ 子供たちのためのサンデー・スクールもあります。また、遊具等の設備も豊かに整っております。
- ◎ 12年前に始まった日本語教会です。どなた様もお気軽にお出かけ下さい。

教会の地図



ホームページ: www.irvinihongokyoikai.org

 Irvine Nihongo Kyokai

連絡先:

杉村 宰 牧師 電話: (714) 527-1456
Eメール: sugimura1950@gmail.com
田畑 彰 牧師 電話: (949) 701-6502
Eメール: mt.moriya77@gmail.com

Rev. Tsukasa Sugimura

◎石叫 ■ 「伊58潜水艦帰投せり」
今回は『羅府新報』（二〇一八年八月九日付）に投稿した古林真理樹牧師のエッセーである。恩讐を超えて名誉回復に奔走する日本人に大きな感銘を受けた。「まさかー!」昨夏、長崎県五島列島の海底に巨大な潜水艦が突き刺さっているのを見つかり、それが太平洋戦争後に米軍が処分した旧日本軍の「伊58潜水艦」の可能性があるという「ラ・ブロンジェ深海工学会」による調査報告に驚愕した。広島・長崎に投下された原爆をマリアナ諸島内テニアン島まで輸送した米海軍重巡洋艦「インディアナポリス」を撃沈したのは同艦である。終戦間近の一九四五年七月二十九日夜十一時過ぎ、日本海軍屈指の名艦長、橋本以行中佐が指揮する伊58潜は、原爆輸送の極秘任務を終えレイテ島へ向け航行中のインディアナポリスを発見。橋本は95式魚雷6本を発射、2本命中、うち一発が第二砲塔下部弾薬庫の誘爆を引き起こし、大爆発してわずか十五分でインディアナポリスは沈没。乗員一九九名のうち約三百名が攻撃で死亡。一方で、艦長のチャールズ・B・マクベイ三世大佐は生き残り、橋本も八月十八日に広島、呉に帰投。問題はその後である。マクベイは軍法会議にかけられ、ジグザグ運動を怠り船を危険にさらしたとして有罪とされた。米国は戦中の戦闘で約七百隻の艦艇を失ったが、戦闘で撃沈された艦艇の艦長が軍法会議にかけられたのは彼一人である。結局マクベイは死んだ乗組員の遺族に責め立てられて一九六八年に自殺。橋本は梅宮大社の神職となり、さまざまに自責の念から太平洋戦争戦没者全ての鎮魂を祈る日々を送るかたわら、マクベイの名誉回復のために奔走。ついに二〇〇〇年十月三十日、クリントン大統領によりマクベイの名誉は回復されたが、それは橋本が亡くなったわづか五日後であった。パウロは「わたしの心の願い、彼らのために神にささげる祈りは、彼らが救われることである」（ローマー0・1）と心の叫びを吐露しているが、同胞の救いのためにパウロはその一身を賭したのである。それは何よりも主イエスが彼の名誉回復のために文字通り、十字架に身を捧げられたからであり、それによってこの地上での名誉のみならず、来るべき世界への門戸を開いてくださったからである。それでこそ、永遠の御国への真の帰投となるものであった。

「私達の教会の歩み」

2005年9月18日、アーバイン日本語クリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡クリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。杉村宰牧師をはじめ、田畑彰牧師、ジェームス・パーク牧師、佐藤裕士兄と信徒達の協力で毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをし、月一回の家庭集会を開いております。

「ミッション・ステートメント」

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令（マタイ28：18-20）に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。